

● 好事例 01 ●

定着・活躍促進

多国籍の職場づくりで、 外国人材の定着と活躍を支援

農業・林業

農事組合法人 ファクター

設立年	1996年
従業員数	19名
事業内容	鶏卵選別包装、育雛
所在地	三重県北牟婁郡紀北町長島613
HP	https://www.factoregg.com/



外国人材雇用を始めたきっかけ

地域における人口減少や若年層の生産年齢人口の減少を背景に採用難が続く中、人手不足への対応として、約15年前に中国から技能実習生を受入れたことが始まりでした。以降は、インドネシア、ミャンマー、カンボジア等さまざまな国から技能実習生の受入れを進めていくなかで、外国人材雇用を拡大していきました。現在では、たまごの販売、製造、育雛、養鶏を行っているグループ会社全体で、30名程度の外国人材を受入れています。

採用のための取組

送り出し機関を通じ、複数の候補者の中からオンライン面接を実施して選考しています。採用のための取組として、定期的に現地を直接訪問し、候補者の選定を行ったり、送り出し機関との関係構築を図ったりしています。また、同じ国の人材のみを採用することを避けており、出身国の異なる外国人社員同士が日本語を共通語として会話することで、日常生活の中で自然に日本語能力が高まる職場環境づくりにつなげています。

課題

外国人社員の多くは標準語で日本語を学習しているため、日常会話では地域特有の方言についていけないという課題があります。また、作業場では大きな機械音が鳴っているため、日本人社員同士の会話は声がとても大きく、外国人社員が驚いたり、方言の意味が分からないことで余計に威圧的に感じてしまったりすることがあります。そのため弊社では、作業場に職場でよく使う方言の意味を紙で掲示し、先輩社員が意味を説明することで、方言の意味や作業場の会話が徐々に分かり、職場に馴染んでもらえるよう取り組んでいます。

外国人材 採用経路

送り出し機関、直接応募

● 外国人従業員数	13名
● 国 籍	インドネシア12名、フィリピン1名
● 在 留 資 格	技能実習11名、特定技能1名、永住者1名
● 業 務 内 容	鶏卵の手詰め作業



総務ご担当者

外国人材の定着・活躍のための取組状況

01 自然に日本語が覚えられる職場環境づくりで日本語能力の向上を支援

外国人社員が職場で円滑に意思疎通できるよう、日本語学習を重視した環境づくりを意識しています。国籍や母国語がそれぞれ異なる実習生が職場や寮で共同生活する中で、自然に日本語が共通語として使われており、日常的な会話を通じた日本語能力の向上につながっています。

普段の業務でも先輩社員が言葉の意味や使い方を伝え、特に方言はよりかみ砕いて説明する等細やかに支援を行っており、日本語能力を磨くことで、地域での暮らしにも円滑に馴染めていると感じます。

02 社員寮の生活で、生活ルールの周知とコミュニティづくりを推進

弊社では、外国人社員が安心して生活を立ち上げられるよう社員寮を整備しており、生活環境のサポート体制を整えています。寮の生活では生活のルールを定め、ゴミ出しのルールや夜間の外出時の安全、買い物の仕方やマナーについて注意点を共有する等、規則正しい生活を送り、外国人社員が地域に馴染めるよう指導しています。

また、寮の暮らしでは食事を通じてコミュニケーションが活発になっており、キッチンを共同利用として、外国人社員同士が顔を合わせる機会が生まれやすい環境としています。みんなで料理を作ることや、それぞれの故郷の国際色豊かな食事を通じて交流が広がり、仕事の関係性だけでなく信頼関係が構築されることで、互いにサポートし合える関係が築かれています。

03 「生活リーダー」制度で相談体制の強化&人材育成!

弊社では日常生活のルールの徹底を図るため、外国人社員の中から「生活リーダー」を選出しており、日常生活の監督役を任せています。リーダーとなった社員が積極的に生活指導を行ってくれることで、普段の暮らしの中でルールやマナーが根付き、生活指導を効果的に行えています。他の社員との関わりが密になることで、リーダーに対して日々の困りごとが自然に相談できており、リーダーにとっても、皆から頼られる存在として責任感が芽生え、人材育成につながっています。

一方で、それぞれのライフスタイルや価値観にも配慮し、過度な規則や制限をつくらないよう留意しながら、安定した生活環境の維持に努めています。

04 日本文化体験と地域交流による心理的サポート

外国人社員が日本での生活を積極的に楽しめるよう、地域との交流の機会や、日本文化に触れられる機会を設けています。地域の行事にも参加しており、夏祭りや花火大会では浴衣を着せてあげる等、日本ならではの行事や文化を楽しめるようにサポートしています。こうした取組を通じて、近隣との交流も生まれており、日常的にあいさつや声掛けをしてもらえる良好な関係づくりにもつながっています。



外国人社員の声



インドネシア出身

鶏卵選別包装部門で活躍する外国人社員

勤続年数	9年
日本在住年数	9年
業務内容	鶏卵の手詰め作業
在留資格	特定技能2号

特定技能2号に合格

さらに日本語能力を磨き、家族と一緒に暮らす夢を叶えたい

幼い頃から、いつか日本で働きたいという思いを持っていました。技能実習生として来日し、現在の会社で3年間働いた後、一度母国へ帰国しました。帰国後の2年間では結婚と出産を経験しましたが、家族の将来を考える中で、もう一度日本で働きたいという気持ちが強くなり、再びこの会社に戻ってきました。

母国に家族を残して働く中で、家族と日本で暮らしたい、これからもこの会社で働き続けたいと考えるようになり、特定技能2号評価試験の受験を決めました。特定技能2号の試験では、養鶏だけでなく、牛や豚を含む幅広い畜産農業の専門知識が求められることや、日本語で試験を受ける難しさを感じましたが、無事に合格することができました。

子どもの将来を思うと、仕事に向き合う気持ちもより強くなります。家族を支えることが、私にとって働く原動力です。仕事では、卵を割らず数を間違えないよう注意しながら、作業の順番や段取りを工夫して効率的に進めています。現在は家族と一緒に日本で暮らすことを目標に、日々の仕事に励んでいます。